

第1問

設問A

(1)

海の結氷域が狭くなり、結氷期が短縮して航路開発が進む一方、生態系に悪影響が生ずる。陸では凍土の融解で資源開発が容易化する一方、温室効果ガスの放出や水による地盤の侵食が活発化する。

(2)

減少－D 増加－B

(3)

干魃やそれに伴う大規模な山林火災が起こりやすくなる。

(4)

a－EU b－インド c－ロシア d－日本

(5) 石炭中心の中国では太陽光発電など自然エネルギーの利用が推進され、石油・天然ガス中心のアメリカ合衆国では国内のシェール層から生産されるエネルギーへの需要創出が図られている。

設問B

(1)

図1－6 デルタ（三角州） 図1－7 溺れ谷（リアス海岸）

(2)

図1－6では陸からの土砂供給が盛んで浅海底の埋積が活発である。図1－7では地盤の沈降により、河谷の沈水が生じている。

(3)

海面養殖業。栄養塩の供給が豊富な波静かな入江が発達し、消費地に恵まれるが、一帯の都市化に伴う水質汚濁が懸念されている。

第2問

設問A

(1)

Aー中国語      イーアラビア語      ウースワヒリ語

(2)

プログラミングで用いる英語への一極化が顕在化している。

(3)

州毎に公用語が異なるインドでは、ヒンディー語は首都一帯の地域語で、英語が国全体の共通語となっている。一方、インドネシアでは、国全体でインドネシア語が第1言語となっている。

(4)

広東語。広東語が使われる華南の沿海部一帯との交易活動を背景に同地域からの華人の祖先である移民が送出自らされてきたから。

設問B

(1)

Aーインド、Bー韓国、Cーマレーシア      イギリスは旧宗主国で、オーストラリアは近距離で多文化社会であるため、マレー人も華人も留学しやすいが、アメリカ合衆国とカナダは遠距離だから。

(2)

留学に要するコストが低いことをはじめ生活環境が良い。また多文化主義を掲げているため異民族・異文化に寛容でもある。

(3)

徹底した学歴社会であり、学生の就職先として人気が高い大企業が国際競争対策として被雇用者に高い英語能力を求めているから。

第3問

設問A

(1)

Aースウェーデン      Bートルコ      Cー日本

(2)

女性の地位が低いイスラム教が優勢でないことや小国で労働力が豊富でないことを背景に女性の教育や社会進出が進んでいるから。

(3)

政情不安で外資の進出が遅れたフィリピンでは経済格差が大きく、富裕層の女性は高度な教育を受けて社会進出の機会を獲得できるが、貧困層の女性は大家族の重い家事負担を強いられるから。

設問B

(1)

Aーサービス職業      イー農林漁業      ウ) 生産工程

(2)

ウは産業の空洞化、対して販売従事者は機械化、セルフ型店舗の増大、ECの普及などに伴う雇用力減退が影響している。

(3)

企業が中枢管理部門のオフィスを首都圏へ一極集中させたため、この部門などで就業する若年層の流入が活発化しているから。

(4)

高度経済成長期の過疎・過密の激化で首都圏には若年層が大量に流入し、彼らが結婚・出産したことで高くなったが、その後、人口流入が鈍化し、晩婚化や単身世帯の増加などにより低くなった。